

予報期間 11月6日から11月12日まで

◆今期間のポイント

＜主要しょう乱の概要＞

- 8日は、高気圧が日本の東へ移動し、華中から黄海付近に前線がのびる。
- 9日は、日本海北部に低気圧が進み、前線が西日本から東日本付近にのびる。
- 10日は、低気圧は発達しながら千島近海を進み、日本付近は西高東低の気圧配置となる。
- 11日は、大陸から高気圧が日本付近に移動する。
- 12日は、高気圧が日本の東へ移動し、気圧の谷が北日本付近に進む。熱帯しょう乱が沖縄の南を北上する。

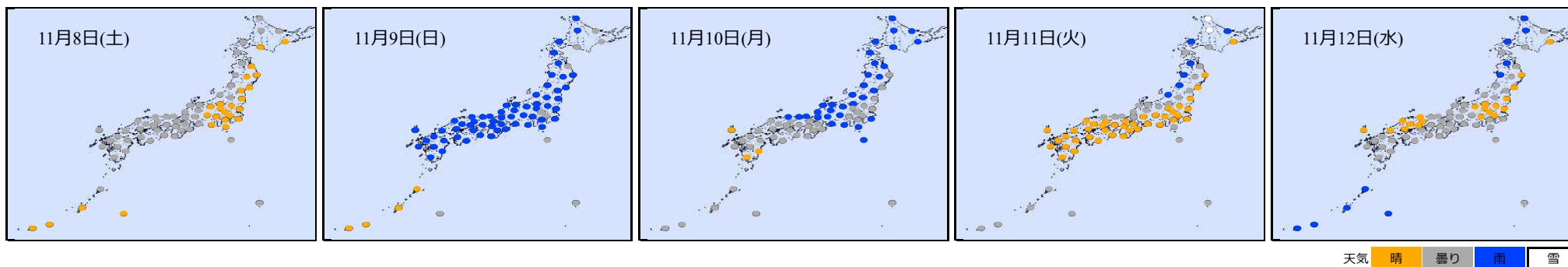
＜防災事項＞ 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

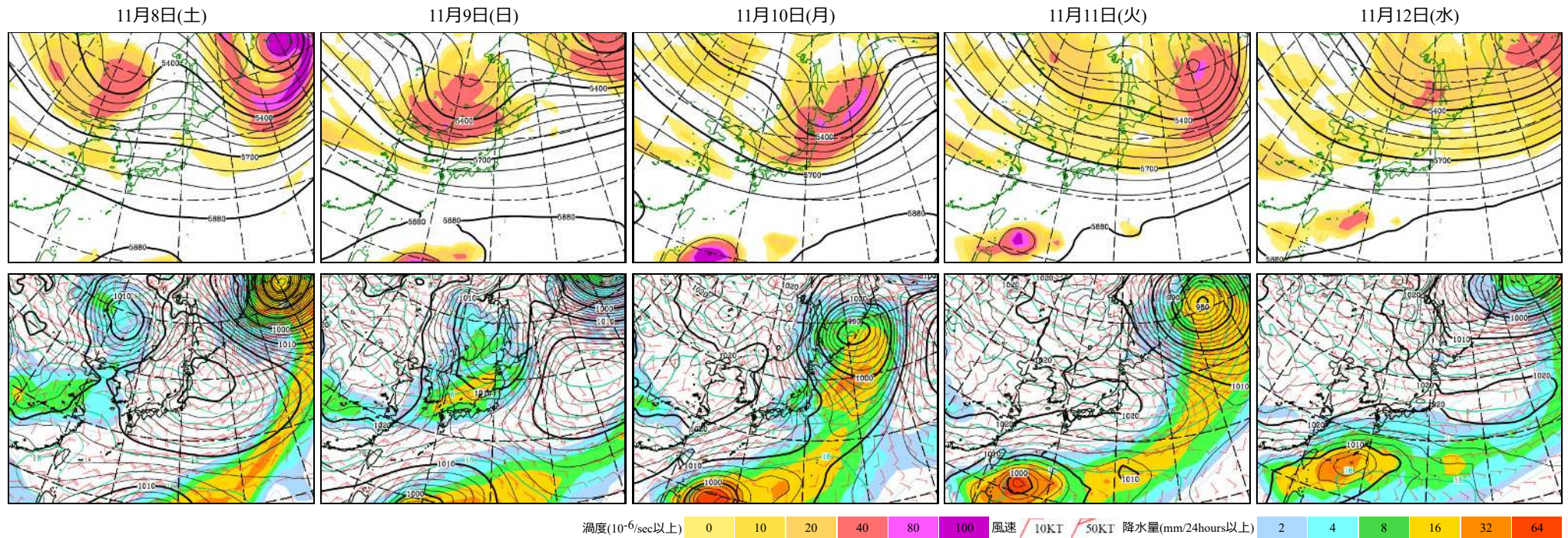
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

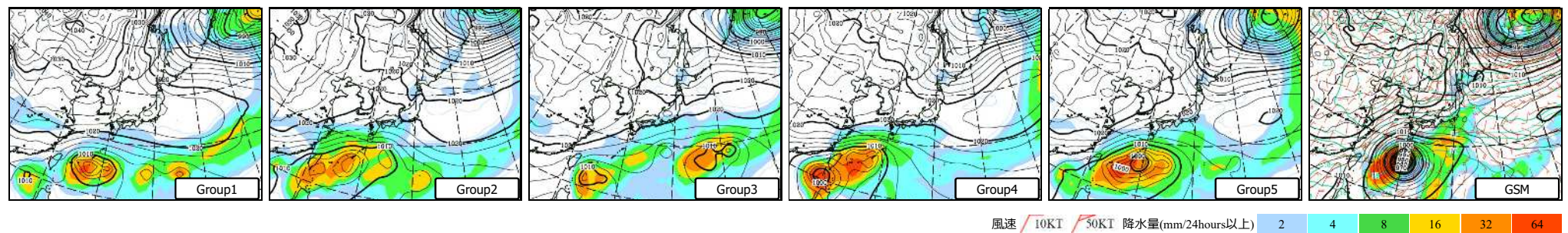


- 北日本から東日本にかけての日本海側は、曇りや雨または雪の降る日が多い。
- 北日本から東日本にかけての太平洋側と西日本は、曇りや晴れの日が多いが、9日から10日は雨の降る所がある。
- 沖縄・奄美は、曇りや晴れの日が多いが、12日は雨の降る所が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆11月12日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、期間の中頃までは昨日との大きな違いはないが、期間の終わりは沖縄の南に熱帯じょう乱が北上する予想に変わった。
- スプレッドは比較的小さく、500hPaの流れはモデル間の差が小さいが、期間の終わりに沖縄の南に進む熱帯じょう乱についてはモデル間の差が大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。